

神の民の礼拝

追加式文 2020

カンバーランド長老キリスト教会

礼 拝 書

2020.2.22

目 次

1. 主日礼拝	5
聖餐式文 3	6
2. 各個教会諸式	17
結婚式	18
結婚式 3	20
葬儀諸式	25
臨終の祈り 1	26
臨終の祈り 2	28
臨終の祈り 3	30
臨終の祈り 4	32
納棺の祈り 1	34
納棺の祈り 2	38
出棺の祈り	41
前夜式 1	43
前夜式 2	49
家族による前夜の祈り	52
葬式 1	56
葬式 2	63
火葬前の祈り	65
収骨後の祈り	67

埋葬式	68
埋葬の祈り 1	72
埋葬の祈り 2	75
葬儀から数週間後の祈り	77
葬儀後しばらくして教会を 訪れた家族のための祈り	79
動物の埋葬の祈り	80
召天者記念礼拝	82
 3. 中会諸式	 87
新設委員会の委員任命式	88
常設・特設・小委員会の委員任命式	90
運営委員会の委員任命式	92
中会神学教師任命式	94
教職志願者の受け入れ	96
 あとがき	 100

本文中の聖書の引用はすべて『聖書 聖書協会共同訳』を使用している。

© 日本聖書協会 Japan Bible Society 2018



1. 主日礼拝

1. 主日礼拝

聖餐式文 3

奉 献

司式者が呼びかける。

大いなる恵みに応え、感謝と献身をもって、良いものを神さまに献げましょう。

パンと杯もこの時に聖餐卓に運ばれる。既に聖餐卓に準備されている場合はこの時に覆っていた布を取る。

頌 栄

献げものが集められてきた時、司式者の合図で一同起立し、頌栄、あるいは奉獻にふさわしい贊美を歌う。または、礼拝者の代表あるいは司式者が以下のような献身の祈りを献げてもよい。

(献身の祈り)

祝福の源である神さま。あなたは、ご自身の豊かな宝を私たちにおゆだねになりました。私たちが受けたすべてのものはみな、あなたのものです。私たちは今、その一部を取って献金とし、感謝をもってあなたにお献げいたします。どうか、これをあなたのお働きにお使いください。小さな私たちの献げものが、大いなる神さまの栄光のために用いられますように。私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

食卓への招き

[1]

愛する姉妹兄弟、私たちは今、主イエス・キリストの制定された聖餐に招かれています。主の言葉に聞きましょう。

「私が命のパンである。私のもとに来る者は決して飢えることがなく、私を信じる者は決して渴くことがない」(ヨハネ6:35)。

父・子・聖霊の御名によって洗礼を受け、イエス・キリストを主また救い主と告白する方は、どなたも、感謝と信仰をもって、この食卓に加わってください。

[洗礼を受けていない方、信仰を告白していない方は、まだこの聖礼典にあずかるることはできません。しかし主は、すべての人をこの食卓に招いておられます。今ここで祝われる救いの食卓を、ご自分への招きと促しとして受け止め、必要な準備へと進まれますように。]

[なお、洗礼を受けていない方のために祝福の祈りをしますので、手のひらを出すかわりに頭を垂れてお受けください。]

いのちの食卓を共に囲みましょう。「味わい、見よ、主の恵み深さを」(詩編34:9)。

[2]

主イエス・キリストは私たちを招き、こう言われます。

「すべて重荷を負って苦労している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう」(マタイ11:28)。

「見よ、私は戸口に立って扉を叩いている。もし誰かが、私の声を聞いて扉を開くならば、私は中に入って、その人と共に食事をし、彼もまた私と共に食事をするであろう」(黙示録3:20)。

私たちの招かれた聖餐は、神の民の祝宴です。主なる神は、人々を東から西から、南から北から、神の国の祝宴に招かれます。主イエス・キリストを信じ、洗礼を受けている者は皆、この祝宴に招かれています。私たちが信仰をもってこの礼典にあずかるとき、主イ

1. 主日礼拝

エスは聖靈において私たちが受けている恵みの一切を明らかにし、神の家族として養い育ててくださいます。

[洗礼と聖餐という二つの聖礼典は、一つにつながっています。まだ洗礼を受けていない方は、洗礼によって信仰生活へと踏みだしてから聖餐にあづかってください。洗礼には、すべての人が招かれています。]

[なお、洗礼を受けていない方のために祝福の祈りをしますので、手のひらを出すかわりに頭を垂れてお受けください。]

共にこの時を祝いましょう。「味わい、見よ、主の恵み深さを」（詩編34：9）。

制定の言葉

私があなたがたに伝えたことは、私自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜^{よる}、パンを取り、感謝の祈りを獻げてそれを裂き、言われました。「これは、あなたがたのための私の体である。私の記念としてこのように行いなさい。」食事の後^{のち}、杯も同じようにして言されました。「この杯は、私の血による新しい契約である。飲む度に、私の記念としてこれを行いなさい。」だから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲む度に、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです（コリント一11：23~26）。

制定の言葉の他の聖書箇所はマタイ 26：20~30、マルコ 14：22~26、ルカ 2：19~20

賛 美

聖餐祈祷

[1]

礼拝者は起立する。

司式者　主があなたがたと共に。

礼拝者　またあなたと共に。

司式者　心を高く上げよ。

礼拝者　私たちは主に向かって心を高く上げます。

司式者　私たちの神である主に感謝を献げよう。

礼拝者　感謝と賛美を献げるのは正しいことです。

司式者　恵みの契約を与え、どこまでもそれを貫かれる神よ。

あなたの創造の御業をあがめて、感謝を献げます。あなたがイスラエルを奴隸のくびきから解放された救いの御業、律法を授けられた御業、そして、民があなたに背いても、なおこれを愛し、預言者たちを通してお語りくださった御業をあがめて、感謝を献げます。

一同は「聖なるかな」を歌う。または唱える。

一　同　聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。

主の栄光は、地をすべて覆う。

ダビデの子にホサナ。

主の名によって来られる方に、祝福があるように。

いと高きところにホサナ。

1. 主日礼拝

A musical score in G clef, 2/4 time, and a key signature of one flat. The lyrics are written below each line of music.

せ いな るせ いな るせ いな る万軍の主　　主のえ いこ うは
地をすべてお おう　ダビデ の子 に ホ サ ナ____
主の名 によつて　来 られ るか たに　しゅくふ くが
あるよ うに____　いとたかきと ころ に ホ サ ナ____

司式者 あなたのお送りくださった御子、肉体となった永遠の言葉、イエス・キリストをあがめて、感謝を献げます。御子は私たちの救いのために十字架にかかり、三日目に死人の中からよみがえり、罪と死への勝利を示されました。キリストのゆえに、私たちは復活の希望を抱き、御国を待ち望んでいます。

一同は「記念唱」を歌う。または唱える。

一 同　キリストは死に
キリストはよみがえり
キリストは再び来られます。

A musical score in G clef, 2/4 time, and a key signature of one flat. The lyrics are written below each line of music.

キリストは死に　キリストはよみがえり
キリストはふたたび　来られます

司式者 どうか今、この場に聖靈を豊かに注いでください。食卓に備えられたパンと杯にあずかる私たちを、今、生きておられるキリストと一つにしてください。

[2]

礼拝者は起立のまま祈る。

司式者 主なる神よ、私たちは今、あなたに向かって心を高く上げ、あなたに感謝を献げます。

天と地と、そこに満ちるすべてのものを造られた全能の神さま、あなたは私たちをご自身にかたどって造り、命の息を吹き入れ、生きるものとしてくださいました。その深い愛は、どんなときにも変わることはありません。

あなたは私たちを奴隸の輶から解き放ち、恵みの契約へと招き入れてくださいました。「私はあなたと共にいる」という約束は、どんなときにも変わることはありません。

あなたは私たちを雲の柱、火の柱をもって導き、あなたの^{おきて}掟によって正義と慈しみを教えてくださいました。あなたの御言葉が示す真理は、どんなときにも変わることはありません。

あなたは御子イエス・キリストをこの世に送ってくださいました。御子は肉となって、私たちの間に宿されました。主に油を注がれた御子は、「捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、打ちひしがれている人を自由にし、主の恵みの年を告げる」という旧約の預言を成就するために、神の国の福音を宣教されました。御子は、私たちのために、十字架に死に、そして死を打ち破って復

1. 主日礼拝

活の命を示されました。その救いの確かさは、どんなときにも変わることがありません。

心からの感謝と賛美をもって、私たちは聖なる食事にあずかります。どうか今ここに、聖靈を豊かに注いでください。このパンと杯にあずかるとき、私たちをキリストと一つに結び、キリストにあって私たちを一つに結んでください。

主の祈り

司式者 共に、主イエスが「こう祈りなさい」と与えてくださった主の祈りを、祈りましょう。

一 同 天におられる私たちの父よ、御名があがめられますように。
御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも。私たちに必要な糧を今日も与えてください。私たちの罪を赦してください、私たちも自分に負い目のある人を皆赦しますから。私たちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。
國も力も栄光も 永遠に主よ、あなたのものです。アーメン。

パン裂き

司式者はパンを取って掲げ、裂きながら言う。

私たちが裂くパンは、キリストの体との交わりではありませんか。パンは一つだから、私たちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンにあずかるからです。

司式者は分餐の際、次のように陪餐者に告げる。

あなたのために裂かれた主イエス・キリストの体。

司式教職者は杯を掲げて言う。

私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血との交わりではありませんか。

分餐

司式者・分餐奉仕者は、分餐の際、次のように陪餐者に告げる。

あなたのために流された主イエス・キリストの血。

分餐の方法については、文末の解説を参照。

感謝の祈り

愛の神よ、あなたの器である私たちは、今あなたの恵みがあふれるほどに注がれました。この食卓において私たちは、キリストによって満たされ、キリストによってつながれ、キリストによって新しくされたことを感謝します。「肉の思いは死であり、靈の思いは命と平和です。」キリストに結ばれた私たちのうちに、命と平和への求めをこれからも育ててください。

私たちの道であり、世界の希望であるイエス・キリストによって。アーメン。

ここで次のように言って、沈黙の時をもってよい。

沈黙して、神が私たちにしてくださったことを心に収めましょう。

解説：分餐の方法について

分餐にはいくつかの作法がある。礼拝者が前に進み出て、食卓、あるいはいくつか設けられた分餐の場所で、裂かれたパンを受けて食し、続けて杯（カリス）から飲む方法や、受けたパンを杯に浸して食する方法（インティンクション）、あるいは、司式者・分餐奉仕者が会衆席を回って着席したままの礼拝者にパンと小さな盃を配る方法、などである。歴史的に見れば、古くから行われてきたのは、礼拝者が前に進み出て受ける方法であるが、英國のピューリタンは会衆席に配餐する方法を好み、これは後に長老教会にも影響を与えることになった。日本中会の諸教会は、長老が会衆席にあらかじめ小さくカットされたパンと小分け用の杯を配って回る、という方式に長く親しんできたが、それが唯一の方法ではない。主の招きに応えて食卓を囲むということを行動で表すという面や、聖餐が共同的な祝祭であるという面、また、裂かれた一つのパンを（取るのではなく）受けるという面をより明瞭にするという利点を考慮するならば、食卓へと進み出る方法も検討に値する。

伴奏附 1

聖なるかな

曲：高浪晋一

せいなるせいなるせいなる万軍の主
主のえいこうは

地をすべておおうダビデの子にホサナ

主の名によつて来られるかたにしゅくふくが

あるようないとたかきところにホサナ

伴奏附 2

記念唱

曲：高浪 晋一

The musical score is divided into four measures by vertical bar lines. The first measure contains two staves: the top staff has a single note followed by six eighth notes, and the bottom staff has a single note followed by five eighth notes. The second measure also has two staves: the top staff has a single note followed by six eighth notes, and the bottom staff has a single note followed by five eighth notes. The third measure contains two staves: the top staff has a single note followed by six eighth notes, and the bottom staff has a single note followed by five eighth notes. The fourth measure contains two staves: the top staff has a single note followed by six eighth notes, and the bottom staff has a single note followed by five eighth notes.

キリストは死に キリストはよみがえり

キリストはふたたび来られます



2. 各個教会諸式

結婚式

結婚式に関する注意

I. 基本的な注意

1. 福音書は、主イエス・キリストがガリラヤのカナでの結婚式に際して最初の奇跡を行われ、その栄光を現されたと記している。また、旧約聖書は神が創造の初めから人にパートナーを与え、他者と共に生きることを祝福されたと記している。「結婚はイエス・キリストによって祝福されたものであり、教会の歴史を通して尊ばれてきた。それはあらゆる人々の間で尊重されるべきものである」（「礼拝指針 138 頁」）
2. 「カンバーランド長老教会は、キリスト教結婚式を礼拝と考える。したがって、原理的には共同の礼拝に当てはまるものはすべて結婚式にも当てはまるわけである。焦点は神と神のことばにあてられるべきであり、出席者は皆、礼拝に参加するのである。」（「礼拝指針 139 頁」）
3. その他の注意に関しては、「礼拝指針」III.B を参照のこと。

II. 実際上の注意

1. 場所

教会の結婚式にもっともふさわしい場所は各個教会の礼拝施設である。ただし、実際にはホテルや結婚式場を借りて行うこともある。その場合、司式者は施設の担当者と綿密に打ち合わせをし、礼拝にふさわしい雰囲気を作るよう努める。

いずれの場合も、花や飾り付けを結婚式に加えることは可能である。しかしながら、必要以上に華美にならないよう注意が必要である。

2. 入場・退場

日本の教会の結婚式では、女性が父親に伴われて礼拝堂に入場し、男性と共に司式者の前に立ち、礼拝の最後に二人でそろって退場するスタイルが多くの場合で行われてきた。これには、別々に育てられた男性と女性が

父母を離れて一つに結ばれ、夫婦としてこの世界に送り出されるという象徴的意味を認めることができる。

ただし父親が花嫁を伴って入場して花婿に引き渡す行為には、歴史的に財産譲渡の意味があったことも覚えておきたい。司式者はそのような歴史的な背景も踏まえ、入場の仕方を考えるべきであり、同じような形をとる場合には新しい意義を与えるべきである。

この式文では、結婚をする二人があらかじめ礼拝堂の中に着席しているスタイルも取り入れている。その場合、二人は所定の位置にできれば別々に着席し、招きの言葉に応えて司式者の前にそろって進み出ることがふさわしい。

3. 時間

カンバーランド長老教会は主日礼拝で結婚式を行うことは、事柄にふさわしいと考える。その場合、その男性と女性、および関係者は礼拝に出席し、説教の後、解散・祝福の前のところで、前に進み出る。礼拝出席者全員に列席してくれるよう招き、解散・祝福の後で結婚式を挙行するのも受け入れられる。

待降節や受難節には結婚式を行わないという慣行がある。このような慣行は、絶対的に遵守しなければならないというものではないが、その動機には尊いものが感じられる。受難週だけは避けるという教会が多いようである。考慮して日程を決めることを勧めたい。

2. 各個教会諸式

結婚式3

この式文では婚約者の入場を行わない。結婚する婚約者たちは各々礼拝堂の所定の場所にあらかじめ着席して礼拝を待ち、招きの言葉に応えて賛美の冒頭に司式者の前に進み出る。

ただいまから（　　）と（　　）の結婚式を執り行います。神の御前に心を静めましょう。

前奏（沈黙）

招きの言葉

[1]

しかし、これらすべてのことにおいて、私たちは、私たちを愛してください方によって勝って余ります。私は確信しています。死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできないのです。（ローマ8：37~39）

[2]

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、^{なださざ}宥めの献げ物として御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する人たち、神がこのように私たちを愛されたのですから、私たちも互いに愛し合うべきです。（ヨハネ一4：10~11）

賛 美

祈 り

主イエス・キリストの父なる神さま、

あなたが私たちにただ一度与えてくださったこの尊い地上の旅路の中で、あなたは私たちに素晴らしい出会いの恵みを与えてくださいます。私たちを生み、育んだ両親との出会い。共に生きる友人との出会い。神の御前に共に礼拝をする信仰の友との出会い。そして、あなたは今、御前に立つ二人に、かけがえのない特別なパートナーとの出会いを与えてくださいました。

主よ、(　　)と(　　)は夫婦として共に生きる志を与えられ、今まで誠実にその準備を重ねてきました。「人が独りでいるのは良くない。彼にふさわしい助け手を造ろう。」そう言ってあなたが与えてくださった助け手がこの人であるのか、祈りつつ問うてきました。どうか今、互いを「これこそ、私の骨の骨、肉の肉」と喜び、あなたから与えられたパートナーとして受け入れることができますように。今、御前に立つ二人が、自分たちの情熱や決心や愛によってではなく、ただあなたの愛と憐れみによって、夫婦として歩み始めることができますように。キリストに対する畏れをもって、互いに従うことができますように。主に従うように、従わせてください。主が愛してくださったように、愛させてください。ここに生まれる新しい夫婦が、あなたの愛を映しだすものとなりますように。共に生きる者たちにとっての喜びとなりますように。

主イエス・キリストの御名によって、アーメン。

聖書朗読

説教

誓約

お二人に、神と証人の前で誓約していただきます。誠実に答えてください。

2. 各個教会諸式

妻となる者へ

(　　)、あなたは(　　)と結婚し、その妻になろうとしています。

あなたは、この男性が、あなたの夫になることを真実に願いますか。

願います。

あなたは、この結婚が神さまの恵みであることを信じますか。

信じます。

あなたは、聖書から学んだことを心に留め、キリストに対する畏れをもって、妻としての道をつくし、常に彼に仕え、健やかなときも、病むときも、(　　)を自分のように愛し、固く節操を守ることを、聖霊の助けによって、誓いますか。

聖霊の助けによって、誓います。

夫となる者へ

(　　)、あなたは(　　)と結婚し、その夫になろうとしています。

あなたは、この女性が、あなたの妻になることを真実に願いますか。

願います。

あなたは、この結婚が神さまの恵みであることを信じますか。

信じます。

あなたは、聖書から学んだことを心に留め、キリストに対する畏れをもって、夫としての道をつくし、常に彼女に仕え、健やかなときも、病むときも、(　　)を自分のように愛し、固く節操を守ることを、聖霊の助けによって、誓いますか。

聖霊の助けによって、誓います。

指輪の交換をする場合はここで行う。

祈り

司式者 今、この二人は、あなたの御前に夫婦となる誓約をしました。

礼拝者 父なる神よ、感謝します。

司式者 ここで誓約したことに誠実に生きることができますように、

婚約者 主よ、^{あわ}憐れんでください。

司式者 主イエス・キリストはガリラヤのカナで最初のしるしを行い、その栄光を表されました。花婿と花嫁を祝福し、喜びのぶどう酒を与えてくださいました。今、御前に立つ二人の新しい歩みが、今日ここで栄光を表してくださっている主イエスを喜ぶものでありますように。

礼拝者 聖靈よ、祝福してください。

司式者 もし、主が家を建てるのでなければ

礼拝者 それを建てる人々は空しく勞苦することになる。

司式者 もし、主が町を守るのでなければ

礼拝者 守る人は空しく見張ることになる。

司式者 父・子・聖靈なる神よ、ここに生まれる新しい家庭のために、あなたご自身が働いてください。

一 同 アーメン。

宣言

私は、父と子と聖靈の御名によって、() と () が夫婦

2. 各個教会諸式

であることを宣言します。「神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならない。」アーメン。

賛 美

派 遣

私は今、キリストによって示された神の愛に基づいてあなたがたをこの世界へ送り出します。キリストによって夫婦とされたあなたがたは、喜ぶ者と共に喜び、悲しむ者と共に悲しみなさい。勇気をもちなさい。大胆に神を信じなさい。あなたたちのために、その独り子をさえ与えてくださった神の愛に生き抜くのです。

祝 福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。

後 奏

新郎新婦退場

葬儀諸式

葬儀とは

人の死に際して行われる諸式を総称して「葬儀」（葬りの儀式）という。原則的に、説教を含む場合は「礼拝」（または「式」）とし、それ以外を牧会的配慮に基づく「祈り」とした。

葬儀の目的

葬儀の主たる目的は、神を礼拝すること、死者に別れを告げて遺体を葬ること、会葬者に慰めをもたらすことである。司式者は、非キリスト教的習慣によってキリスト教葬儀の本質が見失われないよう注意しなければならない。

葬儀諸式

葬儀にかかわる主なものを、臨終の祈り、納棺の祈り、出棺の祈り、前夜式、葬式、火葬前の祈り、埋葬式（納骨式）とする。状況に応じてこれらの他に適宜、必要な祈りを加えてよい。前夜式と葬式は、必ず両方を行わなければならないものではない。

葬儀全体を通して、礼拝共同体の中で遺族、会葬者のグリーフワーク（悲嘆の癒やし）がなされることが大事である。家族の喪失による悲嘆は克服すべきこと、忘れるべきことではない。死を十分に悲しむことが大切である。『慰めと希望の葬儀』（日本キリスト教団出版局）にはグリーフワークについて次のように記されている。

「グリーフワークの第一歩は、死の事実を曖昧にすることではなく、死の事実を辛いが認めることである。^{つら}死者を忘れるのではなく、深く心に刻み、神にゆだねることである。葬儀はそのために欠かすことのできないものである」（P.83）。司式者は、このようなことに配慮をしつつ、キリストの復活による慰めと希望を指し示すものとして、葬儀の業に仕えるべきである。

臨終の祈り 1

聖書朗読

イエスは涙を流された。（ヨハネ 11：35）

他の適切な箇所：ヨハネ 11：21～25、14：1、詩編 130：1b～2

祈り

命の創造者である神よ、
今、（　　）は、私たちの手を離れ
(病から解放されて、ついに)
(思いがけない出来事により忽然と)
(地上のあらゆる束縛、重荷から解放され、ついに)
あなたのみもとに召されました。
抑えがたい悲しみと、
張り裂けそうな心の痛みの中で、
私たちは、言葉を失っています。
ただ立ちつくすしかないので。

しかし、混沌の中に「光あれ」と言われた神よ、
愛する者（家族）を失った、私たちの抑えがたい悲しみを、
言葉にならない言葉を、
うめき、叫びを、
あなたは、確かに聞いてくださいます。
今、私たちに気づかせてください。
あなたが、（　　）を、みもとに召されたことを。
今、私たちに気づかせてください。
(　　)は、命の創造者、また完成者である、

あなたに迎えられたということを。

私たちは、今、愛する（　　）をあなたの御手におゆだねします。
「心を騒がせるな。おびえるな」（ヨハネ 14：27c）と言われた私たちの
救い主イエス・キリストのお名前によって。アーメン。

臨終の祈り 2

(長寿の場合)

聖書朗読

主よ、今こそあなたはお言葉どおり
この僕を安らかに去らせてくださいます。^{しもべ}

私はこの目であなたの救いを見たからです。(ルカ 2:29~30)

他の適切な箇所：創世記 25:8、35:29a、詩編 23、139:7~10、箴言 14:32b、マタイ 25:34b、コリント二 5:1

祈り

命の完成者である神さま、
今、(　　)は私たちの手を離れ、あなたののみもとに召されました。
あなたは、(　　)の生涯を恵みで満たし、
今日この時まで、私たちの（信仰の）良き先達として
私たちと、共に生きる者としてくださいました。
今や、その生涯は全うされ、あなたが取られたので、
(　　)は私たちから離れていきました。

(ここに個人的な祈りを含めてよい)

私たちは今、苦難の日も、喜びの日も(　　)の生涯を満たした
あなたの恵みを覚えて、深い感謝を献げます。
その命の日々、あなたの恵みは、いつも変わることがありませんでした。
今、この時も、なお変わらない恵みをもって(　　)を受け入れ
てくださるあなたに向かって、私たちの心を高く上げさせてください

い。

「私のいる所に、あなたがたもいることになる」（ヨハネ14：3）と言わ
れた私たちの救い主イエス・キリストに心から信頼して祈ります。

アーメン。

臨終の祈り 3

(子どもの場合)

聖書朗読

主は羊飼いのようにその群れを飼い
その腕に小羊を集めて、懷に抱き、
乳を飲ませる羊を導く。(イザヤ 40：11)

祈り

命の創造者である神さま、
今、(　　)は、私たちの手を離れ、
(病から解放されて)
(思いがけない出来事により)
あなたのみもとに召されました。
どうしてでしょうか。
その意味を簡単に知ることはできません。
抑えがたい悲しみと、張り裂けそうな心の痛みの中で、
私たちは、言葉を失っています。
ただ、立ちつくすしかありません。

しかし、混沌の中に「光あれ」と言われた神さま、
愛する子を失った者の深い悲しみを
言葉にならない思いを、
うめきを、
叫びを、
あなたは確かに聞いてくださいます。

今、私たちに気づかせてください。

あなたが（　　）を、みもとに召されたことを。

今、私たちに気づかせてください。

（　　）は、命の創造者、また完成者である、あなたに迎えられた
ということを。

私たちは、今、愛する（　　）を、あなたの御手におゆだねします。

主イエスは言われました。「子どもたちを私のところに来させなさい。
……神の国はこのような者たちのものである」（マルコ 10：14a,c）と。
そして、子どもたちを抱き寄せ、手を置いて祝福してくださいました。

主イエスの深い愛により頼み、その御名によって祈ります。アーメン。

臨終の祈り 4

(流産・死産の場合)

聖書朗読

私を憐れんでください。^{あわ}

神よ、私を憐れんでください。^{あわ}

私の魂はあなたのものとに逃れました。

災いが過ぎ去るまで

あなたの翼の陰に私は逃れます。(詩編 57:2)

祈り

神さま、憐れんでください。^{あわ}

私たちがその誕生を待ち望んできた新しい命がこの世界に生まれ出ることはかないませんでした。私たちはこのことを深く悲しみ祈ります。

(母の名) の魂があなたの翼の陰に逃れますように。

(母の名) (と [父の名]) をあなたの大きな御手の中に置き、守ってください。

神さま、あなたと共にいる平安を脅かすすべての思いから守ってください。

どうぞ今、嘆き悲しむ声を聞き、(母の名) と共にいてください。

神さま、すべてのことはあなたのまなざしのもとにあると信じます。
あなたの慈しみと真実を表してください。^{まこと}

あなたの慈しみは大きく、天に満ち、あなたの眞実^{まこと}は大きく、雲を覆います。

あなたのご計画のうちに日々、(母の名) (と [父の名]) が、生かされますように祈ります。

主は、羊飼いとして群れを養い、御腕をもって集め小羊を懷に抱き、その母を導いて行かれます。

どうぞ、キリストの御腕の中に、この子を抱いていてください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

納棺の祈り 1

定刻になったら、遺族は遺体の周りに集まる。

聖書朗読

主は私の羊飼い。

私は乏しいことがない。

主は私を緑の野に伏させ

憩いの汀に伴われる。
みぎわ

主は私の魂を生き返らせ

御名にふさわしく、正しい道へと導かれる。

たとえ死の陰の谷を歩むとも

私は災いを恐れない。

あなたは私と共におられ

あなたの鞭と杖が私を慰める。
むち つえ

私を苦しめる者の前で

あなたは私に食卓を整えられる。

私の頭に油を注ぎ
こうべ

私の杯を満たされる。

命あるかぎり

恵みと慈しみが私を追う。

私は主の家に住もう

日の続く限り。(詩編 23:1b~6)

他の適切な箇所: 詩編 16:5~11、マタイ 11:28~30、ヨハネ 14:

1~6、コリント二5：1、テサロニケー4：13~14、18、黙示録21：1~4

祈り

未信者の場合は《　》を省いててもよい。

命の源である神よ。

私たちは、今この世の生涯を閉じてあなたのもとに召された（　）の遺体を棺に納め、葬りの備えをするために、ここに集まりました。（　）は、走るべき道のりを走り終え、《地上での務めを忠実に果たし、信仰の生涯を全うして》、あなたが約束してくださった平安と慰めの中に移されたと、私たちは信じます。今、私たちは愛する者のなきがらを棺に納め、地上における別れをします。私たちのために場所を備えると約束された主のお言葉のとおり、（　）があなたの御手のうちに迎えられますように。

私たちは（　）の面影をしのび、哀惜の思いを禁じえません。どうか、死に打ち勝たれたキリストの御言葉によって、慰めを豊かに与えてください。言い尽くしがたい悲しみの中にも、私たちは恵み深いあなたを仰ぎ、やがて復活の体をもって、あなたの御前でまた会う日を待ち望むことができますように。

これから執り行われるすべてのことを通して、命の源である神よ、あなたの御栄えを表わすものとさせてください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

子どもの場合：

神よ、今私たちは、地上の短い生涯を閉じてみもとに召された（　）の遺体を棺に納め、葬りの備えをするために、ここに集まりました。（　）の短い生涯を思うとき、このように早く、みもとに移されたことに、私たちは驚き、込み上げる悲しみを抑えることはできません。

2. 各個教会諸式

しかし、私たちの小さな思いで、すべてのことを計り知ることはできません。神よ、今、幼子をあなたの御手にゆだねる信仰をお与えください。そして、どうか両親（お父さん／お母さん）をはじめ遺族の方々に、あなたからの慰めをお与えください。

私たちを、これから執り行われる葬儀をとおして復活の主を仰ぎ、新しい天と新しい地を望み見る者となさせてください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

献体される場合（適当なところで次のような祈りのときをもつとよい）：

命の源である神よ。

（　　）は、この世の生涯を閉じてあなたのもとに召されました。（　　）は、今や走るべき道のりを走り終え、《地上での務めを忠実に果たし、信仰の生涯を全うして》、あなたが約束してくださいった平安と慰めの中に移されたと、私たちは信じます。私たちのために場所を備えると約束された主のお言葉のとおり、今（　　）があなたの御手のうちに迎えられますように。

（　　）は、生前より献体の意志を表明し、その体はすでに病院に安置されております。どうかその志が役立てられ、命の課題に取り組む医療のため、大切な礎となることができますように。

ここに集まる私たちは、（　　）の面影をしのび、哀惜の思いを禁じえないことですが、死に打ち勝たれたキリストの御言葉によって、慰めを豊かに与えてください。言い尽くしがたい悲しみの中にも、私たちは恵み深いあなたを仰ぐ者となり、やがて復活の体をもって、あなたの御前でまた会う日を待ち望むことができますように。

これから執り行われるすべてのことをとおして、命の源である神よ、あなたの御栄えを表わすものとさせてください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

(注) 祈りの後に、短い説教を行ってもよい。

納 棺

贊 美

祝 福

主はあらゆる災いからあなたを守り

あなたの魂を守ってくださる。

主はあなたの行くのも帰るのも守ってくださる。

今より、とこしえに。(詩編 121:7~8)

(注) 納棺後、^{ひつぎ}棺の中に入れてよいものについて遺族から質問を受けることがあるが、キリスト教葬儀の理解から外れないよう配慮する。

納棺の祈り 2

(牧師が不在の場合)

定刻になつたら、司式者と参加者は遺体の周りに集まる。

賛 美

初めに賛美をしてもよい。故人、あるいは家族の愛唱賛美歌などがふさわしい。

聖書朗読

司式者が朗読する。あるいは、会衆と交読することもできる。

主は私の羊飼い。

私は乏しいことがない。

主は私を緑の野に伏させ

憩いの汀みぎわに伴われる。

主は私の魂を生き返らせ

御名にふさわしく、正しい道へと導かれる。

たとえ死の陰の谷を歩むとも

私は災いを恐れない。

あなたは私と共におられ

あなたの鞭むちと杖つえが私を慰める。

私を苦しめる者の前で

あなたは私に食卓を整えられる。

私の頭こうべに油を注ぎ

私の杯を満たされる。

命あるかぎり
恵みと慈しみが私を追う。
私は主の家に住もう
日の続く限り。(詩編 23:1b~6)

祈り

私たちにただ一度限りの、かけがえのない地上の命を与えてくださった神さま、

私たちは、愛する（　　）のお体を棺に納めるために、ここに集まつてきました。神さま、あなたは、まだ生まれないうちから（　　）を覚え、母の胎の内に形づくり、驚くべき御業をもって命を与え、人生のすべてのときにわたって、豊かな祝福をもって守ってくださいました。

(　　) の地上での最後の時間を、私たちは今、共にしています。愛する人を神さまの御手にゆだねるためです。

神さま、しかし、私たちにとって別れは悲しいことです。あの声を聞くことがもはやできず、あの笑顔を見ることができないのは、私たちにとって寂しいことです。どうか神さま、墓に葬られ、しかし三日目に復活させられたキリストと同じように、(　　) が復活の命を頂くその希望に中にいることを信じさせてください。やがて必ずくる復活の朝を、その時あなたが手を取って(　　) を起こしてくださることを信じて、今、(　　) を神さまの慈しみに満ちた手にゆだねます。

これから、葬りの営みが続きます。その一つ一つの業が、(　　) を愛する一人ひとりにとって慰めの時となりますように。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

納棺

2. 各個教会諸式

贊 美

故人の愛唱歌、あるいは復活を賛美するイースターの歌、または神の国を覚える賛美歌がふさわしい。(参考『讃美歌21』111,112,434,474,496[4,5節],528,531,569,575,579,580)

黙 祷

出棺の祈り

聖書朗読

私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神は、豊かな憐れみにより、死者の中からのイエス・キリストの復活を通して、私たちを新たに生まれさせ、生ける希望を与えてくださいました。また、あなたがたのために天に蓄えられている、^{けが}朽ちず、汚れず、消えることのないものを受け継ぐ者としてくださいました。あなたがたは、終わりの時に現されるように準備されている救いを受けるために、神の力により、信仰によって守られています。（ペトロ一1：3～5）

祈り

命の源であり、またすべての慰めと、まことの希望の源である神さま。私たち、あなたに造られ者たちの生涯はすべて、造り主であるあなたの御手のうちにあります。その初めも終わりも、万事を益としてくださることを信じ、御名をあがめます。

今このとき、主の見守りのうちにその生涯を終え、みもとに召された（　　）を住み慣れた家（このところ）から送り出すにあたり、私たちは計り知れない主の御旨と、（　　）の生涯に与えられた限りない主の慈しみを覚えます。

すべてのことは、主の導きのうちにあることを信じ、私たちは今、先立ち、進み行かれる主に従い、主により頼むことができますように。主の顧みを信じ、主の平安のうちに、これから執り行われる葬りの嘗みを滞りなく行わせてください。そして、そのすべてをとおして、どうか主の御名があがめられますように。

悲しみのうちにあるご家族一人ひとりに、主の豊かな慰めと平安を

2. 各個教会諸式

お与えください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

前夜式 1

(「前夜礼拝」または「復活を証しする礼拝」としてもよい)

会葬者（礼拝共同体）、とりわけ遺族に、復活の希望を指示示す礼拝である。招詞に入る前、定刻まで、前奏を入れることもできる。礼拝の前に、キリスト教葬儀の意味について説明することもできる。

（プログラムに印刷しておいてもよい。以下参考例）

このたびの葬儀は、ご遺族の願いによって、（故人の意思によって）、キリスト教式で行うことになりました。つきましては、戸惑われることがないように、式について簡単にご案内いたします。

第一に、キリスト教葬儀は、この地上で故人と共に獻げる最後の礼拝です。私たちは、神の愛によって、命を与えられ、生涯を導かれてきました。そして、私たちは、死を通して、神のみもとに召し出され、かの時に、神の愛によって、死から新しい命が始められます。ですから、私たちは、故人を生かし、今も共におられ、再び命を与える愛の神を、故人共々に礼拝するのです。

第二に、礼拝は、式次第（プログラム）に沿って、司式者（司会者）によって進められます。賛美歌を歌う時など、参加者にご起立を願うことがあります、体調に合わせてお座り頂いたままで構いません。携帯電話をお持ちの方は、着信音の鳴らない設定をお願いします。もし可能であれば、礼拝中は電源を切ってくださいと幸いです。

第三に、礼拝の後の「献花／飾花」は、私たちが、故人をしのび、悼むために、お花を贈ることです。美しいお花で遺体を飾ることを通して、故人に対する私たちの愛の気持ちを表現します。

私たちは故人の地上の生涯を思い、その最期を、故人への敬意をもって共に過ごしたいと思います。復活の希望を抱いて、礼拝にご

2. 各個教会諸式

参加ください。

司式者は、定刻になったら、次のように言う。

ただ今から、前夜式を始めます。

招 詞

イエスは言われた。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことができない」。(ヨハネ 14:6)

他の適切な箇所：マタイ 11:28~30、テサロニケー 4:13~14、黙示録 14:13、21:3b~4 ほか

前 奏（沈黙）

賛 美

神に対する信頼を表す歌、キリスト教信仰を表す歌がふさわしい。

祈 り

《　　》の部分は、状況に合わせて適当に変えること。

全能の神、主よ、

私たちは今、あなたののみもとに召された（　　）をあなたの御手にゆだね、遺族の上にあなたの慰めを求めるために、ここに集まりました。

（　　）は、その生涯にわたってあなたの御手のうちに置かれ、健やかなときも、病むときも、幸いな日も、苦しみの日も、変わることのないあなたの導きと、支えのもとに歩むことができました。

《（　　）は、イエス・キリストのゆえに罪を赦され、キリストへの信仰を告白して、御国を望みつつ、あなたを主とし、また隣人を愛して、その生涯を歩んできました。》

(　　) は、今や地上の生涯を終えて、あなたの国に移されました。
 《主よ、みもとに帰った(　　)を、あなたの変わらない慈しみをもって受け入れてください。世々の聖徒の交わりに、平安のうちに連なる者となさせてください。》

(　　) は、地上のあらゆる縛目を過ぎ越し、約束された、痛み、悩み、苦しみのない復活の体を頂くことを信じ、私たちは、あなたをほめたたえます。

別離の悲しみは深く、痛みは癒やしがたいほどですが、今、私たちは顧みて、(　　) の生涯に与えられた、あなたの限りない慈しみを覚えて、感謝を献げます。

キリストが与えてくださる平安のゆえに、耐え難い悲しみのうちにある遺族、近親者、会葬者一人ひとりに慰めを与えてください。

私たちの主、イエス・キリストの御名によって、祈ります。アーメン。

子どものための祈り：

全能の神、主よ、

私たちは今、短い生涯を閉じて主のみもとに移された(　　)をあなたの御手にゆだね、遺族の上にあなたの慰めを求めるために、ここに集まりました。

(　　) がこの世から離れ、あなたのもとに移されたことは、私たちにはとうてい計り知ることができない、驚きの出来事でした。

しかし主イエスは、かつてみもとに集まった子どもたちを祝福して「子どもたちを私のところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである」と言われました。

私たちには理解しえない出来事ですが、そこには必ず主の慈しみ深いまなざしがあったことを覚えます。あなたは、確かにこの幼児の短い生涯を守り、両親（父親／母親）の手の中に置き、喜びのうちに、今日までの日々を送らせてくださったのです。

2. 各個教会諸式

私たちは今、（　　）をあなたの御手にゆだねます。
愛する子を失い、悲しみの中にある両親（父親／母親）の上に、そして会葬者一同の上に、どうかあなたの慰めを、豊かにお与えください。やがて、天の御国で（　　）と再会することを信じて、救い主、イエス・キリストへの信仰と、天の御国への希望をもって、立ち上がることができますように。

主イエス・キリストの御名によって、祈ります。アーメン

聖書朗読

私は確信しています。死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできないのです。（ローマ8：38～39）

他の適切な個所：創世記5：21～24、ヨブ1：21、詩編23：1～6、90：1～17、139：1～18、ヨハネ14：1～6、コリント一15：35～58、コリント二4：7～18、5：1～5、フィリピ3：20～21、テサロニケー4：13～18、黙示録7：9～17、21：1～4
(幼児の場合)マルコ10：13～16ほか
このほか、故人の愛した聖書個所を取り上げて説教テキストとすることは有益である。

賛 美

故人愛唱歌で、ふさわしいものがあれば、それを用いてもよい。

主の祈り

本文は印刷しておくこと。

説 教

説教に入る前に、会葬者の誰かに故人に関する証しを語ってもらってよい。説教の初めに、故人略歴を紹介してもよい。

信仰告白

通常、使徒信条を用いるが、復活を証しする他の信条・信仰告白を用いることもできる。本文は印刷しておくこと。

ここに記された言葉は、キリスト教会が信仰の中心的な事柄として受け継いできたものです。葬儀に際して、私たちは希望をもってこれを言い表します。

頌栄

祝福

私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。(エフェソ 1:2) アーメン。

後奏（沈黙）

礼拝の後、以下のことを行ってよい。

遺族挨拶

希望によって遺族挨拶を入れてもよい。

献花

希望によって献花（飾花）を行ってよい。その場合、司式者は次のように勧める。

これから献花（飾花）をいたします。明日、ひつぎ棺をお花で美しく飾つてお送りしますが、今からする献花は、そのお手伝いをしていただくものです。

2. 各個教会諸式

(注)

1. 前夜式は「死」から「葬」に至る営みの中で、適當な夕刻に行われる。
2. 遺体の頭の向き等を問われることがあるが、定めのない諸々のことについては司式者としての見識をもって対処する。
3. 遺体、写真の置き方など、神への礼拝にふさわしいものとなるよう細心の注意を払う。
4. 葬儀も信仰共同体の礼拝の営みである以上、献花の際の花を手渡す係などは、できる限り教員が担うことが好ましい。

前夜式 2

近年、大規模な前夜式は行われることが少なくなった。追加式文では、家族や親しい友人だけが集まることを想定した前夜式の式文を加えた。

招詞に入る前、定刻まで、前奏を入れることもできる。ただし、礼拝堂ではなく遺族宅で行われる場合は、奏楽ができない可能性もある。

司式者は、定刻になったら、次のように言う。

ただ今から、前夜式を始めます。

賛 美

神に対する信頼を表す歌、キリスト教信仰を表す歌がふさわしい。

祈 り

復活の主、イエス・キリストの父なる神さま、

私たちは、あなたののみもとに召された（　　）をあなたの御手にゆだね、あなたの慰めを求めるために、集まりました。

神さま、（　　）は、その生涯にわたってあなたの御手のうちに置かれ、健やかなときも、病むときも、幸いな日も、苦しみの日も、変わることのないあなたの導きと、支えのもとで歩むことができました。

神さま、しかし、私たちにとって別れは悲しいことです。あの声を聞くことがもはやできず、あの笑顔を見ることができないのは、私たちにとって寂しいことです。

どうか神さま、墓に葬られ、しかし三日目の朝、復活させられたキリストと同じように、（　　）が復活の命を頂く、その希望に中にいることを信じさせてください。やがて必ずくる復活の朝、その時

2. 各個教会諸式

あなたが手を取って（　　）を起こしてくださることを信じ、今、
(　　)を神さまの慈しみに満ちた手にゆだねます。

そして、この夕べの暗がりの中にあって、私たちは、復活の朝輝いたあなたの光を望み見つつ、明日の葬儀に向かって良い備えができますように。

復活の主、イエス・キリストの御名によって、祈ります。アーメン。

聖書朗読

私は確信しています。死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできないのです。（ローマ8：38～39）

他の適切な個所：創世記5：21～24、ヨブ1：21、詩編23：1～6、90：1～17、139：1～18、ヨハネ14：1～6、コリント一15：35～58、コリント二4：7～18、5：1～5、フィリピ3：20～21、テサロニケー4：13～18、黙示録7：9～17、21：1～4ほか
(幼児の場合)マルコ10：13～16ほか
このほか、故人の愛した聖書個所を取り上げて説教テキストとすることは有益である。

小 説 教

贊 美

故人愛唱歌で、ふさわしいものがあれば、それを用いてもよい。

思い出の時

故人をしのんで、誰かに故人の思い出や証しを語ってもらってよい。

主の祈り

本文は印刷しておくこと。

祝 福

私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなた
がたにありますように。（エフェソ 1：2） アーメン。

家族による前夜の祈り

牧師が出席せず、家族がとり行う時に、この式文を用いることができる。

聖書朗読

主よ、あなたは私を調べ
私を知っておられる。
あなたは座るのも立つのも知り
遠くから私の思いを理解される。
旅するのも休むのもあなたは見通し
私の道を知り尽くしておられる。
私の舌に言葉が上る前に
主よ、あなたは何もかも知っておられる。
前からも後ろからも私を囲み
御手を私の上に置かれる。
その知識は、私にはあまりに不思議
高すぎて及びもつかない。

どこに行けば、あなたの靈から離れられよう。
どこに逃れれば、御顔を避けられよう。
天に登ろうとも、あなたはそこにおられ
よみ陰府に身を横たえようとも
あなたはそこにおられます。
あかつき
暁の翼を駆って、海のかなたに住もうとも
そこでも、あなたの手は私を導き
右の手は私を離さない。

「闇は私を覆い隠せ。
私を囲む光は夜になれ」と言っても
闇もあなたには闇とならず
夜も昼のように光り輝く。
闇も光も変わることろがない。

まことにあなたは私のはらわたを造り
母の胎内で私を編み上げた。
あなたに感謝します。
私は畏れ多いほどに
驚くべきものに造り上げられた。
あなたの業は不思議。
私の魂はそれをよく知っている。
私が秘められた所で造られ
地の底で織りなされたとき
あなたには私の骨も隠されてはいなかった。
胎児の私をあなたの目は見ていた。
すべてはあなたの書に記されている
形づくられた日々の
まだその一日も始まらないうちから。
神よ、あなたの計らいは、私にはいかに貴いことか。
その数のいかに多いことか。
数えようとしても、砂粒よりも多い。
果てに至っても、私はなおあなたと共にいる。（詩編 139：1~18）

他の適切な箇所：ヨブ記 1：21、詩編 90：1-17

祈り

慈しみ深い神さま、

2. 各個教会諸式

あなたは私たち一人ひとりを、御心に留め、恵みのうちに、守り導いていてくださることを心から感謝します。

今、私たちは御前に集い、主にあって天に召された（　　）のために祈りを共に獻げています。

あなたは、（　　）の生活のすべての面において、座るのも立つのも知っていてくださり、安らかにみもとに召されたことは、あなたの御心によるものと信じます。

あなたは（　　）のはらわたを造り、母の胎内に編み上げてくださいました。（　　）の心を探って調べ、前からも後ろからも囲み、（　　）に御手を置き、すべての不安を取り除いてくださいました。イエス・キリストにおいて祝福するために、また慰めるために、共にいてくださったことを感謝します。健やかなときも、病むときも、あなたは（　　）を救うために、共にいてくださいました。

「天に登ろうとも、あなたはそこにおられ

よみ
陰府に身を横たえようとも

あなたはそこにおられます」（詩編 139：8）。

（　　）はあなたのみもとにあり、静かな安らぎの中にあることを信じます。この夜、（　　）が残してくれた良きものを思い起こし、分かち合うときをお与えください。また悲しみと疲れの中にある、私たちの体を癒やし、その魂を、尽きることのないあなたの命の泉をもって、潤してください。

主よ、私たちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ています。しかし、やがて顔と顔とを合わせて見ることになるのです。あなたは世界の光です。あなたの道、あなたの救いの中に私たちを見いだすことができますように。あなたの愛の光で私たちを照らしてください。

御子イエス・キリストの死と復活によって与えてくださった、永遠の命を私たちに確信させ、召された（　　）と共に、終わりの日

に主にある喜びにあづからせてくださいますように。主イエス・キリストの御名により、祈ります。 アーメン。

2. 各個教会諸式

葬式1

(葬礼拝、または出棺礼拝、出棺式としてもよい)

招詞に入る前、定刻まで、前奏を入れることもできる。礼拝の前に、キリスト教葬儀の意味（前夜式参照）について説明することもできる。

司式者は、定刻になったら次のように言う。

ただいまから（　　）の死を覚えて、葬式を始めます。

招 詞

心を騒がせてはならない。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には住まいがたくさんある。もしなければ、私はそう言っておいたであろう。あなたがたのために場所を用意しに行くのだ。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを私のもとに迎える。こうして、私のいる所に、あなたがたもいることになる。（ヨハネ 14：1~3）

他の適切な個所：マタイ 11：28~30、ヨハネ 14：6、テサロニケー4：13~14、黙示録 14：13、21：3b~4 ほか

前 奏（沈黙）

賛 美

神に対する信頼を表す歌、キリスト教信仰を表す歌がふさわしい。

祈 り

すべてのものの源である神さま、
私たちは今、あなたのみもとに召された（　　）を葬るため、そしてあなたの御手にゆだね、あなたの御前に厳かにひざまずくため

に、ここに集まりました。

神さま、あなたは独り子、主イエス・キリストの死によって私たちの死を滅ぼし、そのよみがえりによって私たちに命を与え、復活の希望を与えてくださいました。主イエスは十字架の上で、「私を思い出してください」と言う者に「あなたは今日私と一緒に樂園にいる」と言われました。今、私たちの目を開き、あなたがキリストの死をもって備えられた、天の住まいを仰ぎ見させてください。私たちは（　　）をあなたの御手にゆだねます。

しかし（　　）との別離は、私たちには耐えがたい悲しみとなっています。どうか悲しむ者を、特に遺族を、顧みてください。あなたの愛で包み、悲しみに沈む心を慰め、そして、このような悲しみの中にあっても、命の源である神への信頼によって、希望をお与えください。

キリストは、「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」と言われました。どうか、この死を^{むな}空しくすることなく、多くの人に救いと命をもたらす祝福の源としてください。

私たちの主、イエス・キリストの御名によって、祈ります。アーメン。

子どもの場合：

すべてのものの完成者である神さま、

今、私たちの愛する（　　）は、計り知ることのできない御心によつて家族のもとを離れ、天に移されました。主イエスは、この世を歩まれた時、御手を伸ばして子どもたちを祝福されましたが、私たちは、今も主がその慈しみの御手によって幼子を顧みていてくださると信じます。つかの間の日々でしたが、愛すべき幼子を授けて、この家庭の喜びとしてくださった恵みを、感謝いたします。私たちは今、（　　）をあなたの御手にゆだねます。

2. 各個教会諸式

今、みもとにある幼子があなたの祝福にあずかっていることを思い、幼子のために深い悲しみと嘆きの中にある者に、慰めと希望をお与えくださるよう、心から祈ります。

キリストは、「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」と言われました。どうか、この死を空しくすることなく、多くの人に救いと命をもたらす祝福の源としてください。^{むな}

私たちの主、イエス・キリストの御名によって、祈ります。アーメン。

信徒でない方の場合：

すべての命の源である神さま。

私たちは今、あなたのものに召された（　　）を葬るために、そして（　　）をあなたの手にゆだね、あなたの御前に厳かにひざまずくために、ここに集いました。このときを初めから終わりまで導いてください。あなたの愛に触れ、あなたの栄光を仰ぐときとしてください。

創造主なる神さま。

あなたは私たちを形づくり、命の息を与え、この世界に生きる者としてくださいました。あなたは私たち一人ひとりに人生の道筋を備え、変わらぬ御手をもって、歩みを守り導いてくださいます。あなたはそれぞれの人に終わりの日を定め、みもとへとお召しになります。

「すべてはあなたの書に記されている」(詩139:16)と信仰の詩人はうたいました。（　　）の日々をすべて知っておられるあなたに、私たちは今（　　）をゆだねます。

あなたの御心は、私たちの思いをはるかに超えて、高く、深く、遠くまで及び、私たち人間にはすべてを理解することなどできません。たとえ頭で理解したとしても、心で受け入れられないことがあります。

す。どうか今、戸惑いや悲しみ、痛みの中にある私たちを顧みてください。残された家族、(　　)とのつながりを与えられていた一人ひとりを守り支えてください。命の尊さをいつも大切にしてくださるあなたの愛で包み、悲しみに沈む心を慰めてください。耳を開き、あなたの語りかけによって希望を与えてください。

御子イエス・キリストをこの世に与えてくださった神さま。

あなたの独り子キリストは、その死によって私たちの死を滅ぼし、その復活によって私たちに新しい命を与えてくださいました。キリストはすべての人の希望です。どうか今、私たちの目を開き、復活の希望を仰ぎ見る者としてください。

私たちの人生を共に歩んでくださる主イエス・キリストの御名によつて祈ります。アーメン。

不慮の死の場合：

「主は与え、主は奪う。主の名はほめたたえられますように。」

私たちは今、あなたのみもとに召された(　　)を葬るために、そしてあなたの御手にゆだねるために、ここに集まりました。

神さま。あなたは、独り子主イエス・キリストをこの世に送ってくださいました。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためです。復活であり、命であるキリストは、私たちに復活の命の希望を与えてくださり、神さまの家に私たちの住まいを用意してくださいました。

私たちは(　　)が、人生の中でどのような戦いを担っていたのか、そのすべてを知ることはできません。しかし、あなたはご存じです。

(　　)の死は、あまりにも突然の出来事でした。(私たちには予測することができませんでした。) それだけに、悲しみは深いのです。

(　　)と共に生きてきた者にとって、特に、遺族の方々にとって、耐えがたい痛みです。どうか、悲しむ者を顧みてください。あなた

2. 各個教会諸式

の愛で包み、悲しみの心に慰めを豊かに与えてください。

しかし、私たちは信じます。（　　）を、キリストが愛してくださっていることを。どんなものであっても、私たちをキリストの愛から引き離すことはできません。キリストの愛を信じて、（　　）をあなたの御手にゆだねます。

私たちの救い主であり、今も生きて働いておられるイエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

自死であると公表している場合：

主イエス・キリストの父なる神、

私たちのために独り子をくださった神、

主よ、私たちは問うています。なぜですか。なぜ、あなたは（　　）を取られたのですか。なぜ、（　　）は死に追い込まれたのですか。なぜ、私たちは、（　　）の苦しみをともに担うことができなかつたのでしょうか。

私たちは、悲しいのです。主よ、どうか、慰めてください。イエス・キリストが、私たちを慰めてください。十字架にかけられたキリスト、十字架の上で「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と呼ばれたキリスト、どうか私たちを憐れんでください。

主よ、私たちは知っています。（　　）と同じように、悲しみのふちにある人、心を病み、絶望している人、生活が困窮し、希望を見いだせない人がこの社会にも大勢いることを。今も苦しんでいることを。どうか、主なる神さま、それらの人々をも、慰めてください。望みを与えてください。どうか、助けてください。

私たちは、今、（　　）と一緒に、あなたの御前にいます。（　　）の肉体を迎えて、一緒にあなたを礼拝しています。主よ、約束のとおり、私たちの目の涙を拭ってください。そして、私たちのうめきを、

あなたが覚えていてください。

十字架の上におられるキリストの御名によって、アーメン。

聖書朗読

また私は、新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は過ぎ去り、もはや海もない。また私は、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために装った花嫁のように支度を整え、神のもとを出て、天から降って来るのを見た。そして、私は玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となる。神自ら人と共にいて、その神となり、目から涙をことごとく拭い去ってくださる。もはや死もなく、悲しみも嘆きも痛みもない。最初のものが過ぎ去ったからである。」（黙示録 21：1~4）

他の適切な個所：創世記 5：21~24、ヨブ 1：21、詩編 23：1~6、90：1~17、139：1~18、ヨハネ 14：1~6、コリント一 15：35~58、コリント二 4：7~18、5：1~5、フィリピ 3：20~21、テサロニケ一 4：13~18、黙示録 7：9~17、21：1~4
(幼児の場合) マルコ 10：13~16 ほか

賛 美

説教に備える、ふさわしい歌を選ぶ。故人愛唱歌でふさわしいものがあれば、それを用いててもよい。

主の祈り

本文は印刷しておくこと。

説 教

説教の初めに、故人略歴を紹介してもよい。

信仰告白

通常、使徒信条を用いるが、復活を証しする他の信条・信仰告白を用いることもできる。本文は印刷しておくこと。

2. 各個教会諸式

ここに記された言葉は、キリスト教会が信仰の中心的な事柄として受け継いできたものです。葬儀に際して、私たちは希望をもってこれを言い表します。

頌栄

祝福

主はあらゆる災いからあなたを守り
あなたの魂を守ってくださる。
主はあなたの行くのも帰るのも守ってくださる。
今より、とこしえに。(詩編 121:7~8) アーメン。

後奏(沈黙)

礼拝の後、以下のことを行ってもよい。

遺族挨拶

献花

一輪の花に思いを託し、献花をいたしましょう。

棺内飾花

出棺

葬式2（直葬〔ちょくそう・じきそう〕）

直葬とは、火葬場で行う短時間の葬式である。家族の事情などにより直葬が行われることがある。基本的には火葬前の祈り同様、短時間で行うことが求められる。そのため、説教は、4、5分で終わる小説教を行う。あるいは、前もって印刷したものを配布することも可能である。

祈り

（　　）に命の日々を与えてくださった父なる神、

私たちは（　　）をあなたの御手にゆだねるため、ここに集まりました。（　　）の生涯は、生まれた日から今日まで、あなたの慈しみの中に置かれました。私たちの不完全な目は、そのすべてを見極めることはできません。しかし神よ、「『人の子らよ、帰れ』とあなたは言い　人を塵に帰らせる」（詩編90：3）。私たちは、今、そのようにお迎えくださるあなたの御手に、（　　）をゆだねます。

イエス・キリストを死者の中から引き上げられた、命の泉である神の恵みが、ここに集う一同の上に（ご遺族の上に）豊かにありますように。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

聖書朗読

「私はあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにしてもあなたを守り、この土地に連れ戻す。私はあなたに約束したことを果たすまで、決してあなたを見捨てない」。（創世記28：15）

説教

信仰告白

2. 各個教会諸式

司式者 生きるにも死ぬにも、あなたのただ一つの慰めは何ですか。

礼拝者 私が 私のものではなく、
体も魂も、
生きている時にも死にゆく時にも、
私の真実な救い主
イエス・キリストのものであることです。
(『ハイデルベルク信仰問答：問1』より。)

賛 美

祝 福

永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを、死者の中から引き上げられた平和の神が、御旨に適うことをイエス・キリストによって私たちにしてくださり、御心を行うために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださるように。栄光が世々限りなくキリストにありますように、アーメン。(ヘブライ13:20~21)

火葬前の祈り

贊 美

聖書朗読

ここで、あなたがたに秘義を告げましょう。私たち皆が眠りに就くわけではありません。しかし、私たちは皆、変えられます。終わりのラッパの響きとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴り響くと、死者は朽ちない者に復活し、私たちは変えられます。この朽ちるものは朽ちないものを着、この死ぬべきものは死なないものを必ず着ることになるからです。この朽ちるものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、次のように書かれている言葉が実現するのです。

「死は勝利に呑み込まれた。^の

死よ、お前の勝利はどこにあるのか。

死よ、お前の棘はどこにあるのか。」（コリント一 15：51～55）

他の適切な箇所：ヨブ 1：20～21、詩編 23：1～4、116：1～5、15、イザヤ 43：1～3、ヨハネ 3：16、ローマ 6：3～4、コリント二 4：16～5：1、テサロニケ一 4：13～14、17～18、ペトロ一 1：3～5、黙示録 21：1～4、ほか

祈 り

生きている者、死んだ者、すべての者の主。すべてを御手のうちに治められる神さま。

今、私たちは主イエス・キリストによって、復活と永遠の命に至る確かな望みを抱きつつ、愛する者のなきがらを火にゆだね、土を土に、^{かり}塵を塵に返します。私たちは、よみがえりの主にあってすべてを新

2. 各個教会諸式

しくしてくださる全能の神、あなたの恵みの御業に信頼します。
救い主、主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

頌栄

祝福

永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを、死者の中から引き上げられた平和の神が、御旨に適うことをイエス・キリストによって私たちにしてくださり、御心を行うために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださるように。栄光が世々限りなくキリストにありますように、アーメン。(ヘブライ 13:20~21)

(注)

火葬場での非キリスト教的習慣に注意する。特に集骨の時の二人箸にはキリスト教的意味は何もない。係員には、集骨に際して牧師が指示する旨、あらかじめ伝えておくことが望ましい。

収骨後の祈り

火葬場によっては、すぐに退去しなければならない場合もあるので、簡潔な祈りを行う。

祈り

死者の中からキリストを引き上げて復活させられた神さま、私たちの愛する（　　）は塵に返りました。しかし、あなたが覚えていてくださいり、新しい復活の体に造りかえてくださると信じています。陰府に降られたキリストが、今も（　　）と共にいてくださいます。やがて復活の朝が訪れたとき、（　　）の手を取って起こしてくださいます。

ここまで葬りの営みが守られたことを感謝致します。（　　）を愛するすべての者にキリストの慰めがあり、その疲れた心と体とを、癒やしてください。キリストにあって、平安の内に、休息を与えてください。主イエス・キリストのお名前によって、アーメン。

埋葬式

(納骨式、または埋葬礼拝、納骨礼拝としてもよい)

招 詞

ここで、あなたがたに秘義を告げましょう。私たち皆が眠りに就くわけではありません。しかし、私たちは皆、変えられます。終わりのラッパの響きとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴り響くと、死者は朽ちない者に復活し、私たちは変えられます。この朽ちるものは朽ちないものを着、この死ぬべきものは死なないものを必ず着ることになるからです。この朽ちるものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、次のように書かれている言葉が実現するのです。

「死は勝利に呑み込まれた。

死よ、お前の勝利はどこにあるのか。

死よ、お前の棘はどこにあるのか。」(コリント一 15：51~55)

他の適切な箇所：ヨハネ 11：25、ローマ 14：7~9ほか

贊 美

聖書朗読

この人たちは皆、信仰を抱いて死にました。約束のものは手にしませんでしたが、はるかにそれを見て喜びの声を上げ、自分たちが地上ではよそ者であり、滞在者であることを告白したのです。彼らはこのように言うことで、自分の故郷を求めていることを表明しているのです。もし出て来た故郷のことを思っていたのなら、帰る機会はあったでしょう。ところが実際は、彼らはさらにまさった故郷、

すなわち天の故郷にあこがれていたのです。だから、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさいません。事実、神は、彼らのために都を用意しておられたのです。（ヘブライ 11：13～16）

他の適切な箇所：詩編84：1～13、139：1～12、コリント一15：13～28、15：35～58、黙示録21：1～4ほか

祈り

恵み深い父なる神さま。

私たちは、今このところに集まり、みもとに召された（　　）の遺骨を土に返し、すべてを御手にゆだねようとしています。

昔、信仰の先祖たちは地上では旅人であるという証しを立て、約束されたものをはるかに見て、葬られました。また私たちの主イエスは、十字架の死ののち、人の手によって葬られましたが、あなたは、その場所をこそ、復活を告げ知らせる場所となさいました。

今、私たちは、あなたの御旨によって召された（　　）の遺骨を、この場所に納めます。

恵み深い神よ。私たちに、よみがえりの主イエス・キリストの栄光を仰がせてください。こののち、この場所に来るたびに、私たちは約束されたものをはるかに望み、復活の信仰と希望を固くすることができますように。

やがて私たちも死を迎えるとき、あなたの御前に導かれ、召された（　　）と共に、私たちもあなたの御国を継ぐことができる者としてください。

復活の主、イエス・キリストの名によって祈ります。アーメン。

(他の埋葬の祈りは72～74頁)

(賛美)

ここで賛美を入れてもよい。

主の祈り

2. 各個教会諸式

本文は印刷しておくこと。

説教

(信仰告白)

ここで信仰告白を入れてもよい。通常、使徒信条を用いるが、復活を証しする他の信条を用いることもできる。本文は印刷しておくこと。

ここに記された言葉は、キリスト教会が信仰の中心的な事柄として受け継いできたものです。遺骨埋葬に際して、私たちは希望をもってこれを言い表します。

埋葬（納骨）

納骨は遺族の手によって行ってもよい。待機している係員に、その後の措置を依頼する。

頌栄

祝福

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔の光であなたを照らし

あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて

あなたに平和を賜るように。（民数記 6：24~26）

アーメン。

(献花／飾花)

希望によって献花（飾花）をする場合は、司式者は次のように勧める。

神は、神の国にふさわしい復活の体を与えてくださいます。その神が咲かしてくださった、このお花でこの場所を飾り、私たちの心を

高く上げましょう。

主イエスのお墓が復活を告げ知らせる場所となったように、この場所も、私たちに復活の希望を指し示す場所となるに違いありません。

(注)

野外であるので、説教は長くならないよう配慮したい。

埋葬の祈り 1

祈り

天地万物の造り主である神さま、私たちに命を与え、人生の喜びをかみしめさせてくださる主よ。

私たちは、あなたの深いご計画によって召された愛する者の遺骨を携えてここにきました。愛する者との別離の日から今日まで、私たちを支え、慰め、励ましてくださったことを感謝します。あなたのお導きにより、ここにこうして納骨の時を迎えることができました。ご慈愛の神さま、あなたは御子イエスの十字架の死によって私たちを罪の泥沼から救い出してくださいました。そして、御子の遺体の埋葬という出来事をとおして、お墓を意味深いところにしてくださいました。そしてさらに、そのお墓をとおして私たちに復活という偉大な出来事を語りかけてくださいました。今、私たちは、そのような聖書に記されているキリストのドラマを思い起こしながら、愛する者の遺骨を埋葬し御手にゆだねます。

私たちの人生の主である神さま、私たちは思いを新たにして祈ります。どうかこの日からこの墓所を、私たちの大切な場の一つに、復活の希望を分かち合う所にしてください。顔と顔とを合わせてキリストにお目にかかるまで、精いっぱい、私たちは人生の課題に取り組んでいくことができますように。愛する者たちが、その生涯をかけて語ってくれた愛の遺産を受け継ぎ、それをいっそう豊かにしていくことができますように。私たちの救い主、主イエスさまのお名前をとおしてお祈りいたします。アーメン。

埋葬の祈り 2（散骨）

墓所への納骨の他に、分骨したものを思い出の地や、親しんだ山などへ埋葬（散骨）して欲しいという故人の遺志がある場合、遺族への配慮が必要になることがある。最近の葬送における自然回帰の流れには、節度をもたなければならない。しかし、モーセの例のように、生涯の務めの大切な一こまが成就された場所（ベト・ペオルの近くのモアブの地にある谷）への葬りというようなことも聖書には見いだされる（申命記34:6、また創世記48:7、サムエル上31:11~13、ヘブライ11:22などを参照）。以下は、特別な葬りの際に用いる祈りの例である。

祈り

天地万物の造り主である神さま、私たちは、愛する（　　）の遺志をおぼえ、この地（山、海、河）に遺骨を携えてきました。そして、大地に帰そうとしています。「神である主は、土の塵で人を形づくり、その鼻に命の息を吹き込まれた。人はこうして生きる者となった」（創世記2:7）。土の器である者を、終始ご自身の目の瞳のように愛してくださいました主に感謝し、私たちは御名を賛美します。

主よ、あなたは、御子イエス・キリストによって死を滅ぼし、私たちに、復活の恵みを与えてくださいました。どうか今、その復活の信仰に基づく希望をもって、愛する者の遺骨をここに葬らせてください。そして、この地を訪れるごとに、この地を愛した故人の歩みをしのぶとともに、永遠の御国を思い、私たちも大切な日への着実な備えができるように導いてください。私たちには、それを思い起こすたびに感謝があふれてくる主イエスさまの足跡が与えられています。そして、愛する（　　）も、主イエスさまの足跡に従い、人間らしい足跡をくっきりと残していました。どうか慈しみ深い神さま、私たちも、キリストのように思い、キリストのように語り、キリストのように生活することを祈り求め、この世界の多くの地に、

2. 各個教会諸式

美しい思い出をもつことができるようにしてください。私たちには、神さまの憐れみによって、天の御国における再会の喜びが備えられています。どうぞ天の御国で、主と共に楽しい話題をもつができるよう導いてください。

心から感謝して、私たちの救い主、主イエスさまのお名前によって、お祈りいたします。アーメン。

葬儀から数週間後の祈り

祈り

《　》の部分は、状況に合わせて適当に変えること。

この人たちは皆、信仰を抱いて死にました。約束のものは手にしませんでしたが、はるかにそれを見て喜びの声を上げ、自分たちが地上ではよそ者であり、滞在者であることを告白したのです。彼らはこのように言うことで、自分の故郷を求めていることを表明しているのです。もし出て来た故郷のことを思っていたのなら、帰る機会はあったでしょう。ところが実際は、彼らはさらにまさった故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。だから、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさいません。事実、神は、彼らのために都を用意しておられたのです。（ヘブライ人への手紙 11：13～16）

恵みと憐れみに富みたもう主なる神さま、
あなたはすべての時、すべての場において、私たちを顧みて、
私たちを導いてくださいます。

過ぐる日、あなたは私たちの愛する（　）をみもとに召されました。

（　）は、その生涯をあなたによって守られ、
歩むべき道のりを歩みとおし、果たすべき業を果たして、
天の故郷へ帰りました。

愛する（　）との別れは、
私たちに大きな悲しみをもたらしました。
あなたはその嘆きを、誰よりもよくご存じです。

2. 各個教会諸式

けれども、主よ、あなたによって与えられた、
愛する（　　）との親しい交わりは、
決して終わったわけではありません。
あなたに結ばれた私たちの交わりは
どこしえに失われることはありません。

《（　　）は、その信仰によって、
今もなお、神を信じる者の望みを語り、証ししています。》

どうか、（　　）が
あなたのもとにあって与えられている平安と慰めを、
ここに集う私たち一人ひとりにもお与えください。
そして、私たちも同じ天の都を熱望して、
私たちに与えられた旅路を生きることができますように、
私たちに与えられた日々を、
感謝と賛美のうちに過ごすことができますように。
主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

葬儀後しばらくして教会を訪れた家族のための祈り

祈り

(故人がキリスト者である場合)

キリストを死者の中から引き上げられた平和の神さま、愛する（　　）が地上の旅を終えて天の故郷に帰り、しばらくの時が経ちました。私たちは（　　）をあなたの手にゆだねて葬り、また再び日常の営みを重ねて生きてきました。

神さま、信仰に生かされることは、なんと幸いなことでしょう。私たちは（　　）の生涯から、神さまを信じる喜びや悲しみの日に頂く慰めを改めて学びました。（　　）は私たちのための、信仰の証人なのです。私たちも、すべての重荷や絡みつく罪を捨てて、自分に定められている競争を忍耐強く走り抜くことができますように。しかし、（　　）との別れは、私たちにはつらく、寂しいことです。殊に、今日ここにおられる（　　）を愛する方たちにとっては、涙を流すことも、力が戻らないこと也有ったでしょう。主よ、どうぞ悲しむ一人ひとりを、主イエス・キリストのゆえに、慰めてください。

今、主イエスを見上げさせてください。この方は、信仰の創始者であり、完成者なのです。このお方は、ご自身の前にある喜びを捨てて、恥をもいとわないで十字架の死を耐え忍びました。ご自分を十字架につけた罪人たちの反抗さえ忍耐されました。そのイエスを、あなたは死者の中から引き上げてくださいました。どうか、私たちが気力を失って疲れ果ててしまうことのないように、今、主イエスを見上げさせてください。

私たちの愛する（　　）も、主イエス・キリストのものです。昨

2. 各個教会諸式

日も今日も、また永遠に変わることのないキリストが、(　　)を覚えていてくださいます。ですから、今、私たちに平安を与えてください。

今日こうして(　　)を覚えて、教会を訪れてくださった、ご家族と共に祈るときが与えられました。この尊い時を、神さま、ありがとうございます。共に祈ることで、私たちは一つです。神さまにある慰めを語り合うことができますように。そして、この教会にも、この世界にも、今なお苦しみ、悲しむ人が大勢おられますから、それらの人びとの慰めになることができますように、私たちを支えてください。

主イエス・キリストの御名によって、アーメン。

(故人がキリスト者ではない場合)

私たちに命を与え、ただ一度限りのかけがえのない人生を与えてくださる神さま、

あなたが私たちに与えてくださった宝である(　　)をあなたにお返しして、数週間／しばらくの時がたちました。今日、ここに来てくださった(　　)を愛する一人ひとりにとって、この時間は、どのようなものだったのでしょうか。その喪失感も、悲しみも、あなたはすべてをご存じです。(　　)を愛したあなたが、ここに来られた方たちをも愛していてくださることを、信じます。あなたの手は、私たちには見えません。しかし、(　　)をその生涯にわたって守り、日ごとの糧を与え、着るものを与え、晴れの日も雨の日もふさわしく準備してくださいたあなたが、今ここに集まつたご家族（近親者・友人）をも支えていてくださいます。そのことは確かです。

神さま、私たちを(　　)と出会わせてくださったのは、あなたです。(　　)と共に歩むことで、私たちの人生にはどんなに多くの喜び

が満ちたことでしょう。今、ここで私たちが共に祈っていることも、
(　　)を通してあなたが与えてくださった尊い出会いの時間です。
神さま、どうか今、私たちを慰めてください。(　　)を誰よりも
深く愛するあなたが、今、(　　)をその手に収めておられます。
神さま、(　　)を愛する一人ひとりを、今、あなたが同じように守っ
ていてください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

動物の埋葬の祈り

今日、動物と生活を共にしている人は非常に多い。たとえば、盲導犬や介助犬を自分の一部のように思い、その存在に助けられ、深い感謝を覚えている人々もいる。また、愛玩動物の場合でも、人が彼らに存在の意味づけをしているばかりではなく（創世記2：18～20参照）、動物が人に仕え、人生に豊かな語りかけをもたらしてくれているという現実もある。そして、そうした動物の死によって深い苦しみを負う人があり、医師の治療を受けたりしている事例も見受けられる。

イザヤ30:24には、家畜も神の祝福にあずかることが預言されており、同43:20には、終末の時、「野の獣もジャッカルも^{わし}驚みみずくも、私〔主なる神〕を崇める」と預言されている。預言者エリヤを養う主なる神の^{あが}憐れみは、鳥が主の命令を受けて運んだ（列王記上17：1以下参照）。また、ヨブ記38：41に記されている主なる神の言葉は、鳥の子らが「神に叫^{からず}び求め」鳴いている、と教えている。そして、キリストは、「神は鳥を養ってくださる」（ルカ12:24）と言われた。キリストのエルサレム入城の際、大切な意味を担って用いられた動物は子ろばだった（マルコ11:1以下参照）。この他、神の前に生きる人間に、動物が深い意味をもってかかわってくる聖書箇所は少なくない。

私たちは、人間と動物の違いを見失ってはならないが（マタイ6：26、12：12参照）、動物の死を神と共に見つめたいという願いに人間らしいものを認め、大切に受容したい。以下は、動物の死に際しての祈りの例である。

祈り

天地万物の造り主である神さま、御子イエスさまは、小さな一羽の雀さえ、あなたのお許しがなければ、地に落ちることはないと教えてくださいました。あなたの愛の支配が、小さな生き物にも及んでいることを思い起こし、感謝を献げます。あなたは、私たちに（　　）と共に過ごすときを与え、私たちの生活に美しい^{よそお}装いを増し加えてくださいました。私たちは、あなたが、「あらゆる野の獣、あらゆる空の鳥を土で形づくり、人のところへ連れて来られた」（創世2：19）

愛について、深く分からせていただくようなときをたくさん与えられました。そして、この愛してきたものの死に遭遇して、私たちは深い悲しみを覚えています。多くの祝福を与えられながら、思いやりが足らなかった悔いもあります。どうか主よ、私たちを憐れん^{あわ}でください、魂の平和を回復してください。私たちは、聖書の偉大なドラマの中で動物を豊かに意味づけてくださった神さまに、(　　)をゆだねます。万事を益としてくださるご愛に信頼して、主イエスさまのお名前によってお祈りいたします。アーメン。

幼子とともに祈るために

すべてのものをつくってくれた かみさま、
いつもみんなをまもってくださってありがとうございます。(　　)
も、うまれてからしぬまで、ずっとかみさまにやさしくしていただきました。たくさんあそんだ、(　　)とおわかれすることになって、かなしいです。でも、(　　)は、やさしいかみさまのところへいきました。かみさまは、いちばんよいようにしてくださいますから、おねがいします。てんごくでも (　　) をかわいがってください。
かみさま、
(　　) がいてくれて、ほんとうにうれしかったです。私たちはこれからも、どうぶつをだいじにします。イエスさまのおなまえによつておいのりします。アーメン。

2. 各個教会諸式

召天者記念礼拝

遺族が希望する場合にしても、遺族に勧めて教会が行うにしても、召天者を記念する集まりを行うのは、信仰共同体にふさわしいことである。なぜならば、召天者記念礼拝は日常という場において、改めて、生も死も支配する全能の主の前に遺族、共同体の心を向け、慰めと希望をもって新たな生に立ち上がる、意義あるときになるからである。

いつ記念の集まりをもつかについては特に定めはないが、まず、死別の悲しみが深まる葬儀後数か月の時期に行うのは適切である。その後は、たとえば遺族の希望に従って、適當な節目の年に実施することも考えられるであろう。教会暦や教会行事に従って教会が行う特別な礼拝に、1年ごと遺族を招くのも適切である。主日礼拝において召天者を記念する場合、86頁の祈りを用いることができる。

記念礼拝の形は、牧会的配慮に基づく祈りだけにする場合もあれば、遺族の希望に従って以下のようないし式で進めることもできる。

序詞の前に奏楽があり沈黙して礼拝に備えることは、適切な導入となる。

序 詞

ただ今から、(　　) の記念礼拝を始めます。

私たちは、「生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きている人にも主となられるためです」(ローマ14:8~9)。

他の適切な箇所：ヨハネ11:25、14:1~3 および6、フィリピ3:21~4:1、コリントー15:55 および57、ヘブライ12:1~2aほか

賛 美

祈 り

《　　》のように読み替えてよい。

豊かな慰めを与えてくださる主よ。

私たちは今、私たちの仲間であった 《私たちから離れてあなたのみもとに帰った》 () を記念し、礼拝を献げています。

あの日から今日まで、あなたはこの家族や、家族と共に歩んできた仲間たちに慰めを与え、また力強く支え、今、再び私たちをこのような祈りの時に導いてくださり感謝します。

神さま、あなたはかつてアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神としてご自身を現されました。そのように、あなたはいつも、一人ひとりに神として向き合ってくださいます。() が今、天にあってあなたと向き合うように、私たちも今ここで一人ひとりに語りかけるあなたの言葉から励ましを頂き、心を高く上げて立ち上がる者とさせてください。

この記念礼拝をとおして、死も、生も支配される神、あなたの前に共に生きるという知恵を学ばせてくださるよう、心から願います。私たちの主イエス・キリストの御名を通して祈ります。アーメン。

聖書朗読

その日の説教にふさわしい聖書箇所を選ぶ。

賛 美

ここで、葬儀に際して心に刻んだ賛美があれば、それを選ぶとよい。

証 し

故人に関わる証しを入れてもよい。故人を賞賛するのではなく、その人をとおして受けた信仰の恵みを話すよう留意する。

説 教

説教のあと、説教者の自由祈祷をしてよいし、次の連祷を用いることもできる。

連 祷

2. 各個教会諸式

司式者 復活の主よ、私たちは、心を高く上げてあなたを礼拝します。

礼拝者 私たちは、今、死に勝利された主に向って、心を高く上げます。

司式者 たとえ、私たちが死に対して無力と感じた時があり、今もそう感じていたとしても、

礼拝者 主はいつも私たちと共にいてくださり、これからも、共にいてくださいます。

司式者 過ぎ去ったことがどんなに重く、つらい出来事であったとしても、

礼拝者 あなたこそが、その出来事のすべてを担い、私たちを離れたことは決してありませんでした。

司式者 主は、私たちに慰めと希望を与えてくださいます。

礼拝者 アーメン、私たちの慰めと希望は、主にあります。

司式者 私たちは、心を高く上げます。

礼拝者 今日は、私たちの新しい出発の日。

賛 美

説教に沿った賛美歌を選ぶ。

信仰告白

通常、使徒信条を用いるが、復活を証しする他の信条・信仰告白を用いることもできる。本文は印刷しておくこと。

ここに記された言葉は、キリスト教会が信仰の中心的な事柄として受け継いできたものです。記念礼拝に際して、私たちは希望をもつ

てこれを言い表します。

派遣の言葉

神が共におられます。平安のうちに出かけて行きなさい。

祝 福

どうか、平和の主ご自身が、いついかなるときにも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。主があなたがた一同と共におられますように（テサロニケ二3：16）。アーメン。

後 奏（沈黙）

[3] 《召天者を記念する礼拝での祈り》

天の神さま。今日は多くの方々と共に、先に天に召された兄弟姉妹を覚え、記念の礼拝を獻げることができましたことを心から感謝申し上げます。

あなたは御子イエス・キリストの十字架の死をもって死を滅ぼし、復活の勝利によって私たちに永遠の望みを与えてくださいました。

このキリストのゆえに、すでに天に召された私たちの愛する兄弟姉妹は、今、永遠の命にあずかり、あなたにあってまつたき平安のあるうちにありますことを覚えます。そして、その生涯において主にあって成したことが、万事を益とするあなたの御手に握られていることを感謝いたします。

私たちも、また、日々復活の命にあずかって生きる者となるようにお導きください。愛する家族を天に送り、今なお悲しみの中にあります方々の上に、主イエス・キリストによって豊かな慰めと望みとをお与えください。アーメン。



3. 中会諸式

3. 中会諸式

新設委員会の委員任命式

中会が新しい委員会を設置したとき、その委員の任命式を行う。中会会議等の公式な場で行うことが望ましい。司式は中会議長または適当な教職者がする。

序 詞

日本中会は、中会の宣教の働きをふさわしく担うため、新しく（　　）委員会を設置しました。この委員会は（　　）のために働くことが期待されています。委員としてこの大切な働きを担う姉妹たち、兄弟たちを、今、私たちはその務めに任命しようとしています。

この委員会の委員として任命を受けるのは、（名前）の、以上（　　）人です。この姉妹たち兄弟たちは、中会の必要に、その賜物をもって喜んで仕えたいという志を与えられ、正規の手続を経て、この働きにふさわしいと認められました。

聖書朗読

一つの体の中に多くの部分があっても、みな同じ働きをしているわけではありません。それと同じように、私たちも数は多いが、キリストにあって一つの体であり、一人一人が互いに部分なのです。私たちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持って います。預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に、教える人は教えに、勧める人は勧めに専念しなさい。分け与える人は惜しみなく分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。（ローマ 12：4~8）

他の適切な箇所：コリント一12：27~31、エフェソ4：11~16、ルカ8：

1~3 ほか

誓 約

司式者 あなたがたは、日本中会が新たに設置する（　　）委員会の務めに就こうとしています。中会の新しい明日を切り開くため、この任命を受け、力を尽くしてその職責にあたることを、約束しますか。

委 員 約束します。

司式者 この志を与えてくださった主が、また、これを成し遂げる力をも与えてくださるように。アーメン。

祈 り

教会のかしらである主イエス・キリストの父なる神。

今ここに立つ友たちに、（　　）委員会の務めをゆだねてくださることを感謝いたします。この委員会は、中会の大切な使命を果たすため、新たに設置されました。その役割を担うこの友たちが、聖靈に導かれて、よく使命を果たすことができますように。そして、委員会に仕えることができた喜びや感謝を、中会の諸教会と共に分かち合うことができますように。この働きのために必要な知恵と賜物を、豊かに、ここに立つ友たちに与えてください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

任命の辞

あなたたちは今（　　）委員会の務めをゆだねられました。この委員会の務めは責任も大きいですが、それにも増して、中会の諸教会と共に、喜びも、豊かに分かち合うことができるものです。主イエス・キリストの恵みが、あなたがたと共にありますように。アーメン。

3. 中会諸式

常設・特設・小委員会の委員任命式

年度初めの合同委員会などの際、新任委員の任命、就任のために用いる。新任委員とは、新たな任期をもってその委員会に奉仕することになった者のことである。

序 詞

今から常設（特設・小）委員会の委員任命式を行います。新たな任期でそれぞれの委員会で奉仕する皆さん、その場でお立ちください。

（　　）委員会、（ 名前　）

以下、続く

聖書朗読

一つの体の中に多くの部分があっても、みな同じ働きをしているわけではありません。それと同じように、私たちも数は多いが、キリストにあって一つの体であり、一人一人が互いに部分なのです。私たちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っています。預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に、教える人は教えに、勧める人は勧めに専念しなさい。分け与える人は惜しみなく分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。（ローマ 12：4~8）

他の適切な箇所：コリントー12：27~31、エフェソ4：11~16、ルカ8：1~3ほか。

誓 約

司式者 あなたがたは、日本中会の（　　）委員会の務めに就こうとしています。中会の宣教の働きを共に担うため、あなたがたはこの任命を受け、力を尽くしてその職責にあたることを、約束しますか。

委 員 約束します。

司式者 この志を与えてくださった主が、また、これを成し遂げる力をも与えてくださるように。アーメン。

祈り

賜物を与えて、私たちをその賜物にふさわしい持ち場に置いてくださる神さま。中会の大切な働きを担う委員会の務めを、今、ここに立つ友たちにゆだねてくださることを感謝いたします。任期の間、この友たちが聖靈に導かれ、よくその使命を果たすことができますように。また中会でお仕えするために必要な知恵と賜物が豊かに与えられますように。そして、中会の委員会で働くことができた喜びや感謝を、送り出した教会の仲間とも分かち合うことができますように。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

任命の辞

あなたがたは今、中会が設けた各常設委員会の務めをゆだねられました。この委員会の働きには犠牲を伴いますが、それにも増して、教会の仲間や中会の諸教会の友たちと多くの喜びを分かち合うことができます。主イエス・キリストの恵みがあなたがたと共にありますように。アーメン。

挨拶

任期中の委員たちは、新任委員を握手をもって迎える。
次のように言う。

主のため、共にこの仕事を担っていきましょう。

3. 中会諸式

運営委員会の委員任命式

新任運営委員の任命のために用いる。新任運営委員とは、新たな任期をもって運営委員会に奉仕する者のことである。退任中会議長または適当な教職者が司式をする。

序 詞

今から運営委員任命式を行います。ただ今、運営委員に選出された方は、名前を呼ばれたら前に進み出てください。

(名前)

以下、続く

聖書朗読

ですから、主の囚人である私は、あなたがたに勧めます。招かれたあなたがたは、その招きにふさわしく歩み、謙遜と柔軟の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、平和の絆きずなで結ばれて靈による一致を保つよう熱心に努めなさい。体は一つ、靈は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあづかるようにと招かれたのと同じです。主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つです。すべてのものの父なる神は唯一であって、すべてのもののにあり、すべてのものを貫き、すべてのもの内におられます。(エフェソ4:1~6)

誓 約

司式者 あなたがたは、日本中会の運営委員会の務めに就こうとしています。中会の宣教の働きを共に担うため、この任命を受け、力を尽くしてその職責にあたることを、約束しますか。

委 員 約束します。

司式者 この志を与えてくださった主が、また、これを成し遂げる力をも与えてくださるように。アーメン。

祈り

新議長に指名された代議員の一人が代表して祈る。祈り後に、十字架と小槌を引き渡す。

任命の辞

あなたがたは今、運営委員会の務めをゆだねられました。この委員会の働きには犠牲を伴いますが、それにも増して、教会の仲間や中会の諸教会の友たちと多くの喜びを分かち合うことができます。主イエス・キリストの恵みがあなたがたと共にありますように。アーメン。

挨拶

新・再任運営委員と議場の人々が挨拶を交わす。

3. 中会諸式

中会神学教師任命式

序 詞

カンバーランド長老キリスト教会日本中会は、（　　）を中会神学教師の務めに就けようとしています。これから任命式を行います。

聖 書

あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。神はご自身のために、教会の中でいろいろな人をお立てになりました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、その次に癒やしの賜物を持つ者、援助する者、管理する者、種々の異言を語る者などです。皆が使徒でしょうか。皆が預言者でしょうか。皆が教師でしょうか。皆が奇跡を行う者でしょうか。皆が癒やしの賜物を持っているでしょうか。皆が異言を語るでしょうか。皆がそれを解き明かすでしょうか。あなたがたは、もっと大きな賜物を熱心に求めなさい。（コリント一 12：27～31a）

誓 約

司式者 あなたは日本中会の神学教師に任じられようとしています。
あなたがこの務めに召されたのは、神の御旨によると心から信じ、主の栄光のためにその身を献げますか。

候補者 信じ、献げます。

司式者 このよい志を与えてくださった方が、これを成し遂げる力をも与えてくださるように。アーメン。

祈 祷

私たちの主なる神さま。

主が召してくださったこの者を、今、中会神学教師の務めに任じてくださることを感謝いたします。神学校で仕える働き、特に牧師養成の働きに仕えるこの者の上に聖靈を豊かに注ぎ、使命を果たすために必要な知恵と賜物を与えてください。この働きをとおしてこの者が神の栄光をいよいよ豊かに表すことができますよう、上よりの祝福をお願いいたします。主イエス・キリストの御名によってお願ひいたします。アーメン。

任職の辞

あなたは今、中会神学教師の務めに任じられました。あなたは主イエス・キリストの召命を受けてこの職に任じられたのですから、今後、主は必ずあなたに必要な恵みと知恵とを与えてくださいます。神学教師は、その働きをとおして広く教会に仕えるものです。あなたは、主イエス・キリストの体である教会に真実をもって仕えるべきであります。どうか、主イエス・キリストの恵みがあなたとともににあるように。アーメン。

教職志願者の受け入れ

教職志願者の受け入れは正規の中会会議においてなされなければならぬ。志願者の審査と種々の証言の後に、教職委員会の委員またはそのために任命された者が司式を行う。

司式者 カンバーランド長老教会日本中会は、あなたに関する証言を聞き、審査をしてきました。ここで次の質問にお答えください。

あなたは自分を知る限り、神により教会の伝道の務めに召されていると信じますか。

志願者 信じます。

司式者 あなたは、神の恵みにより頼み、キリスト者としての品性と行動を保ち、勤勉かつ忠実に、教職者になるための十分な準備をすることを約束しますか。

志願者 約束します。

司式者 あなたは、教職委員会を通して中会と共に、教職者になる準備をすすめることを約束しますか。

志願者 約束します。

司式者 あなたは、今、カンバーランド長老教会の教職志願者としてこの中会に受け入れられることを願いますか。

志願者 願います。

中会は教職志願者をここで正式に受け入れ、司式者は次のように祈る。

司式者

アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、モーセの神である主よ、御名を賛美します。

あなたは、かつて、エジプトにいたあなたの民の苦しみをつぶさに見、彼らの苦悩の叫び声を聞き、御心を痛め、モーセを遣わしました。あなたのご愛は、今も変わることなく私たちの世界に届いています。

そして、私たちは今日ここに、主にある（　　）姉妹（兄弟）を、カンバーランド長老キリスト教会日本中会の教職志願者として受け入れました。私たちは、慈しみ深い主のご計画と新たなお召しの事柄に出会い、感謝と共に厳粛な思いに導かれています。この時代にも、罪の重荷にあえぎ苦しんでいる多くの人々の魂の叫びがあり、それを存在をかけて聞き取り続けてくださる神さまの御心を思うと、私たちの心も熱くなります。どうか（　　）姉妹（兄弟）が、全人類を罪の泥沼から救い出すために、その独り子をさえ犠牲とされた神さまの愛に仕える者として、これから日々、神学の研鑽と教会生活に信実に務めることができますように。そして、やがて主がお声をかけてくださる派遣のときには、健やかに応答できるようにしてください。罪深い私たちを、聖徒に造り変えてくださる主の優しく育む愛に信頼し、主イエス・キリストによってお祈りいたします。アーメン。

祈りの後、会衆は起立し、司式者は志願者に対して次のように言う。

司式者

教会の大いなる頭である主イエス・キリストの御名により、中会の権威によって、私は今、あなたがカンバーランド長老教会の教職志願者として承認され、受け入れられたことを宣言します。そしてあ

3. 中会諸式

なたの名前が中会の教職志願者名簿に登録されるよう、ここに命じます。

次に司式者は志願者に主にある交わりの手を差し伸べて、次のように言う。

司式者

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔の光であなたを照らし

あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて

あなたに平安を賜るように。（民数記 6：24~26）

アーメン。

中会の会議録に、受け入れの正式な記録が記載されなければならない。

あとがき

カンバーランド長老キリスト教会日本中会は、2018年2月の定期中会会議において「礼拝書追加式文特別委員会」の設置を決議し、4名（荒瀬牧彦、宮井岳彦、宮城献、関伸子）を委員に任命しました。その背景には、『神の民の礼拝 カンバーランド長老キリスト教会礼拝書』を発行してから10年が経ち、特に葬儀に関する式に多様性がでてきているため、牧師たちは現在の礼拝書を用いる際に司式者の工夫が必要になっている現状がありました。そのことを受けて、2017年5月の牧師会一泊研修会において、難しい状況にある葬儀、自死の場合、臨終－死産の場合、子どもの死の場合、前夜－家族で集まる祈祷会、直葬の祈り、葬儀から数週間後の祈りなど、10の式文や祈りの言葉を、担当を決めて執筆して、検討することから追補版の準備が始まりました。これらの他に、聖餐式文3、結婚式、新設・常設委員会、運営委員会の任命式、中会神学教師の任命式の文章が新たに加わりました。

同年7月に始動した委員会は、これらの式文や祈りの文章を丁寧に読み、一部修正あるいは全面的に書き直す作業を進めました。その際に注意したことは次のようなことでした。①基本的に現代の口語を用いる。②耳でとらえやすい言葉で表現し、読み間違えをしやすい言葉にはルビをふる。③聖書の引用であっても、キリスト者ではない方に誤解のないように注意する。④聖書の引用は『聖書協会共同訳』(2018年12月発行)で統一する。⑤礼拝書全体の特徴である「神の民」を意識する。

2019年度発行を目標として、式文や祈りの文章を一つひとつ音読し、聞いて意味が分かりにくい言葉を書き換える、文章と

して分かりにくいところを書き改める等の作業を集中して行つてきました。

聖餐祈祷の中の『聖なるかな』『記念唱』のために、高浪晋一氏に作曲していただき、会衆が歌うことができるようになりました。

最後に数回に渡る校正を忍耐強く行ってくださった中野晶正中会主事の労に心より感謝致します。この追加式文が諸礼拝において大いに用いられることを願っています。

2020年5月

礼拝書追加式文特別委員会

委員長 関 伸子

委員 荒瀬 牧彦、宮井 岳彦、宮城 献

※本書に掲載している賛美歌「聖なるかな」「記念唱」の著作権は高浪晋一氏に帰属します。教会の礼拝・所集会で使用する場合、個別の承諾がなくとも自由に複写・使用ができます。

神の民の礼拝 追加式文 2020
カンバーランド長老キリスト教会礼拝書

2020年6月1日 発行

編集 カンバーランド長老キリスト教会日本中会
礼拝書追加式文特別委員会

発行 カンバーランド長老キリスト教会日本中会
242-0006 神奈川県大和市南林間 2-14-21
電話 046 (274) 1371 office@cumberland.jp
<https://www.cumberland.jp>

©2020 カンバーランド長老キリスト教会日本中会

無断転載、無断引用厳禁

printed in JAPAN